

京極記念基金に関して

日本核磁気共鳴学会は、過去数年に渡り、本学会名誉会員故京極好正氏のご遺族からの基金により若手会員の国際学会等への参加を援助して参りました。この京極基金による渡航費助成制度により、既に約 10 名の方々に補助金を差し上げ、本学会の重要な活動の一つとして定着しております。この度、LA システム社社長故阿久津政明氏のご遺族より、本学会に多額のご寄付の申し出を頂きました。阿久津氏は国際学会に不慣れな若い研究者の方々に様々な便宜を図り、国際交流に大きな寄与を果たされましたことからご寄付頂いた全額を京極基金に組み入れ、渡航費助成制度をより積極的に活用する原資とさせて頂くことに致しました。

今後も同様なご寄付を頂く可能性も考慮し、本制度の名称を「日本核磁気共鳴学会 渡航費助成制度」と改称し、今後も京極基金の理念を活かし、若手研究者の海外における学会、研究会への参加費援助をより長期に継続することに致します。従来は故京極氏のご専門を考慮し、主として生体系 NMR 学会への参加を前提としておりましたが、今後はより幅広く NMR 分野全般に拡げる方向で選考したいと思います。

本助成金はこれまでは京極基金運営委員会が指定する学会、ワークショップ等への参加費に限って応募を受け付けてまいりましたが、今後はこの制度を再検討し、申し出のあった学会等への参加費援助を随時受け付け、審査するように運営の枠組みを変更することになると思います。受領者は NMR 討論会において賞状を渡し顕彰する従来の慣習は継続致しますが、その賞状とともに本助成制度の謂われを明記した文書（今後作成致します）を附し、故京極好正氏、故阿久津政明氏の本学会に対する貢献に感謝するように致したいと思います。

日本核磁気共鳴学会 会長 安藤 勲

京極記念基金担当理事 甲斐荘正恒
阿久津秀雄
嶋田 一夫
白川 昌宏